



©松本零士/郡山市

ほしのうみ

—SPACE PARK NEWS—

69号
.....
2018
WINTER



第18回コンピュータグラフィックス展
静止画部門「大賞」館長賞「どんな街になるのかな？」
吉田 潤さん(国際アート&デザイン大学校1年生)

スペースパークギャラリー
第18回コンピュータグラフィックス展
平成30年「宇宙の日」記念
全国小・中学生作文絵画コンテスト



星空ガイドンス ~星空と宇宙を楽しむ~ 冬版
2019年 星空・宇宙の話題

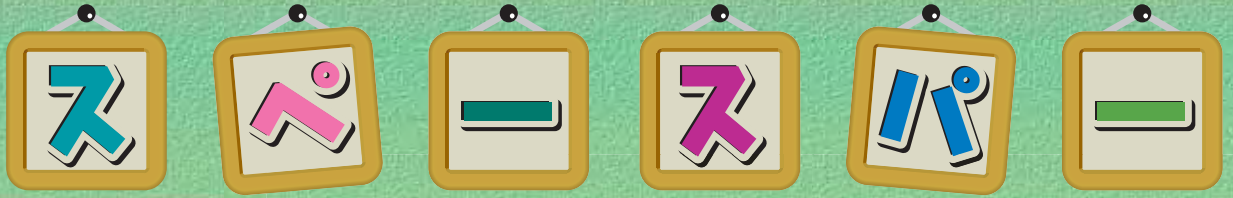


天文現象カレンダー(1~3月)



スペースパークイベントレポート





第18回

コンピュータ グラフィックス展

第18回コンピュータグラフィックス展 受賞作品決定!

CGを「作る楽しさ」「見る楽しさ」に触れていただくことを目的として開催しているコンピュータグラフィックス展も、今年で18回目となりました。

「宇宙でまちづくり」をテーマに募集しました。465点の応募作品の中から、審査員による審査を行って、受賞作品が決定しました!

※静止画部門【大賞】館長賞は表紙をご覧ください。

静止画 部門

【準賞】 スペースパーク賞



「とてもカラフルなうちゅうのまち」

遠藤 真希さん

(郡山市立行健第二小学校4年生)

【準賞】 スペースパーク賞



「スペース郡山シティ」

加藤 環さん

(郡山市立郡山第三中学校2年生)

小学生以下の部



優秀賞

「UFOで惑星へ」

関本 創さん

(会津美里町立高田小学校4年生)



優秀賞

「ようこそ!うちゅうまちへ!」

小林 綾莉さん

(郡山市立高瀬小学校4年生)



優秀賞

「ふわふわなうちゅう」

小野 毅さん

(郡山市立行健第二小学校4年生)

中学生の部



優秀賞

「ギャラクシー!」

鈴木 加奈子さん

(郡山市立郡山第三中学校3年生)



優秀賞

「宇宙人の生活」

佐藤 模之介さん

(郡山市立郡山第三中学校1年生)



優秀賞

「無重力、浮かぶ宇宙の町」

内山 直之さん

(本宮市立本宮第二中学校2年生)

一般(高校生以上の部)



優秀賞

「星間飛行」

長谷川 亜美里さん
(一般)



優秀賞

「Space city」

長田 知大さん
(国際アート&デザイン大学1年生)



優秀賞

「宇宙電車」

加藤 桃香さん
(群馬県立渋川青翠高等学校2年生)

動画 部門

大賞 館長賞

「どせいでどうせい!」

安達 直紀さん・遠藤 駿介さん
(国際アート&デザイン大学2年生)

準賞 スペースパーク賞

「鳥」渡辺 樹さん
(国際アート&デザイン大学2年生)

「猫たちの街づくり」山本 あやねさん
(群馬県立渋川青翠高等学校2年生)

学校賞

▶ 郡山市立行健第二小学校
(応募数169点)

▶ 本宮市立本宮第二中学校
(応募数19点)

▶ 群馬県立渋川青翠高等学校
(応募数53点)

審査員講評

〈新井 浩 審査員〉

コンピュータグラフィックスによる応募では、小中学生の部でソフトに取り組み慣れるまでの期間、表現が学齢より一段階低くなることが今までよく見られた。しかし今年度は小中学生の表現にしっかりと描き込まれた作品が多くなり、画像を取り込んで作られた試みも見ることができて見ごたえがあった。高校以上の一般の部では最初に宇宙の広がりのあるイメージ、奥行きのあるイメージを構想した上で、ふさわしいソフトを駆使して、流石の画面を作り上げていた。動画部門では、様々なアイデアの上でこだわりのある表現を作り上げる作品が増え、レベルの高い審査となった。



平成30年「宇宙の日」記念

全国小・中学生 作文絵画コンテスト

受賞作品展

まもる

毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトル「エンデバー号」で初めて宇宙に飛び立った日を記念し、毎年9月12日は「宇宙の日」となっています。

郡山市ふれあい科学館でも、「宇宙の日」事務局が主催している「宇宙の日」全国小・中学生作文絵画コンテストに参加し、子どもたちから絵画を募集したところ、139点（小学生部門83点、中学生部門56点）の作品をご応募いただきました。たくさんのご応募、本当にありがとうございました。

小学生 部門

【最優秀賞】



太田 里美 さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校3年生)



優秀賞 星 智絵 さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校3年生)



優秀賞 渡邊 駿 さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校2年生)



佳作 小野 光稀 さん
(郡山市立富田小学校3年生)



佳作 木村 太陽 さん
(本宮市立本宮まゆみ小学校)



佳作 瀬谷 理月 さん
(郡山市立富田小学校3年生)

中学生 部門

【最優秀賞】



押田 梨花 さん
(郡山市立郡山第五中学校3年生)



優秀賞 大橋 未紗 さん
(郡山市立小原田中学校1年生)



優秀賞 佐藤 樹音 さん
(郡山市立行健中学校3年生)



佳作 郡司 百華 さん
(郡山市立小原田中学校2年生)



佳作 添田 日奈 さん
(郡山市立小原田中学校2年生)



佳作 宗像 千晴 さん
(郡山市立小原田中学校1年生)

★ 星空ガイドンス ★ 冬版 ★

～星空と宇宙を楽しむ～

2019年 星空・宇宙の話題

2019年も、星空ではさまざまな出来事があります。そして、宇宙でもいろいろな話題があります。みなさんも空を見上げたり、ニュースに目を向けるなどして、2019年も宇宙を楽しみましょう！

1月6日・12月26日 部分日食

今年は日本全国で、部分日食を2回見るチャンスがあります。日食が見られるのは3年ぶりのことです。みなさん安全に観察しましょう。

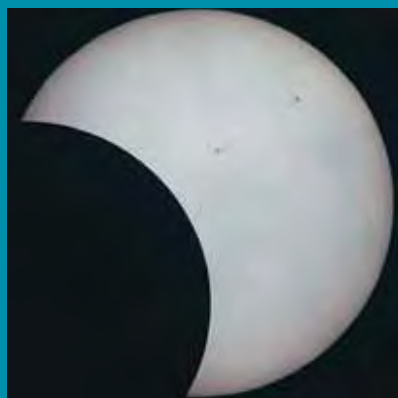
日食は、地上から見たときに、太陽の手前に月が来ることで太陽が欠けているように見られる現象で、欠ける割合はどこで見るかで異なってきます。郡山では1月6日は食分0.45、12月26日は食分0.36です。（食分：太陽の直径が月によって隠される比率）

1月6日の部分日食
（郡山市での時間）

食の始め	8時44分
食の最大	10時08分
食の終り	11時40分

12月26日の部分日食
（郡山市での時間）

食の始め	14時29分
食の最大	15時33分
食の終り	16時26分



部分日食の様子
（2012年5月21日8時23分 ふれあい科学館撮影）

日食のあいだも太陽は非常に明るいため、絶対に！！直接見ないようにしましょう。身近なところで、安全に観察する方法としては、

- ・日食グラスや遮光プレートを使って見る
- ・木漏れ日から地面に映る欠けた太陽の様子を見る
- ・鏡で反射させた太陽の光を遠くに映して見る

といった方法があります。なお、望遠鏡を用いる場合も、太陽の様子を投映板に映し出して観察します。

みなさんで安全に、欠けた太陽の様子を観察してみましょう。



〈安全な観察方法〉 左上：木漏れ日で映る太陽の様子
右上：鏡で壁に映した太陽の様子
左下：日食グラスで観察の様子
中央下：ピンホール（小さな穴）で地面に映した太陽の様子
右下：望遠鏡に投映板を取り付けて映した太陽の様子

木漏れ日の画像提供：加藤一孝氏 ピンホールの画像提供：平野岳史氏

7月 アポロ月着陸から50年

民間による月旅行が話題となっていますが、50年前の1969年7月21日（日本時間）に人類は初めて月着陸に成功しました。アメリカのアポロ11号によりニール・アームストロング、バズ・オルドリンの2人の宇宙飛行士が月に降り立ったのです。その後、1972年のアポロ17号まで6回12人の宇宙飛行士が月に降り立ちましたが、それ以降人類は月に行くことができていません。

改めて夜空の月を見上げ、将来もし月に行ったらどのような世界が広がっているか、想像してみましょう。



アポロ11号 ©NASA

8月7日 伝統的七夕

七夕は7月7日ですが、各地の七夕祭りは8月7日に行われることが多くあります。これは、明治のはじめに暦（カレンダー）が太陽暦に変わったために、それまで使っていた暦（いわゆる「旧暦」）と1か月ほどのズレが起きてしまったことが理由です。太陽暦では七夕のときは梅雨の最中で、なかなか星が見られませんが、江戸時代までの旧暦では梅雨が明けた空で、織女（おりひめ）と牽牛（ひこ星）が良く見えていたときに七夕祭りを行っていました。そこで、季節感が行事と合うように、1か月ずらして（月遅れ）行事を行うようになったのです。

今年は旧暦での7月7日が、ちょうど月遅れの8月7日になります。旧暦で7日ということは、空にはだいたい半月となった月が見られます。昔の人は、この月を舟に見立

て織女が舟に乗って会うのではない
か、といった想いを巡らせたりしま
した。

今年は8月7日の夜、七夕の星を
見つけ、昔の人が見た七夕の様子を
思い起こしてみるのもよいでしょう。



プラネタリウムで見た七夕

日が続けて見ると、惑星どうしの間隔が変化し、また星座
の中で位置を少しずつ変えていく様子など、さまざまな発
見があることでしょう。

1月22日	夜明け前	金星と木星が接近
2月19日	夜明け前	金星と土星が接近
11月24日	夕 方	金星と土星が接近
12月11日	夕 方	金星と土星が接近

※前後数日は
近い状態にあります

小惑星探査機「はやぶさ2」リュウグウに着陸へ！

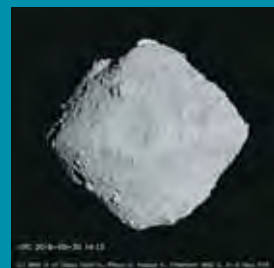
日本が打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ2」は、2018年
6月27日、小惑星リュウグウに到着し、探査を行っています。

これまでに、表面には岩の塊が非常に多く、反対にレゴリス
(細かな粒)がない様子など、非常に詳細に小惑星の表情を伝え
ていますが、いよいよ今年は探査機本体が小惑星にタッチダウン
(着陸)し、表面物質の採取に挑みます。2019年11月ごろまで
探査を行ったのち、小惑星を出発して2020年末に採取した小惑
星の表面物質を地球の私たちに届ける予定になっています。

今年もぜひ小惑星探査機「はやぶさ2」のニュースに注目し
てください。



小惑星リュウグウの表面
(画像提供：JAXA、東大など)



小惑星リュウグウの様子
(画像提供：JAXA、東大など)

夜空を見ていると、月と明るい
星や惑星が接近
して輝く様子を
ときどき見ること
ができます。大
変美しい現象
で、毎月こうした
現象を見ることが
できます。



2月19日の夜明け前の様子／南東の空に金星と土星が大接近し、その南に木星とアンタレス（さそり座の1等星）が見え、非常に目を引くこと。 (ステラナビゲータで作図)

今年は、明るく輝く惑星が大接近するという現象が何回か
起こります。目で見て興味深いですが、双眼鏡や望遠鏡を
向けてみても楽しめます。

これは、惑星がそれぞれ太陽の周りを回っているため
に、星のあいだで位置を変えていくために起こります。何

天文現象カレンダー（1月～3月）

1月

4日 しぶんぎ座 流星群が極大

3日夜から4日未明にかけて、流星
数が増えていきます。月も空に昇って
いないため、条件が良く観察できます。

6日 部分日食

詳しくは3ページの記事をご覧ください。

22日 金星と木星が接近

マイナス4等級の金星とマイナス2
等級の木星が並ぶ様子は、夜明けの空
で大変よく目立ちます。

2月

19日 未明 金星と土星が接近

詳しくは、上の記事をご覧ください。

19日 夜 今年最大の満月

月は楕円軌道のため、地球との距離が約36-40
万kmの間で変化します。この日の満月は、今年の
満月では最も距離が近い状態で、見かけの大きさ
が大きくなります。しかし、最小のとき（今年は9
月14日）と比べても直径で14%ほどの違いです。

27日 水星が東方最大離角

水星が太陽に対して、最も東に離れた位
置になります。前後1週間くらいは、夕方
の西の空で水星を見つけるチャンスです。

3月

5日 啓蟄

二十四節気のひとつで、冬に籠っていた虫たちが活動
を始める、という意味を持ちます。この二十四節気は太
陽黄経という、太陽の黄道上の位置で決められます。

17日 プレセペ星団の食

かに座にあるプレセペ星団の星々が月に隠され
る現象が夕方から夜半にかけて起こります。双眼
鏡を用いるとよいでしょう。なお、プレセペ星団や
おうし座のヒヤデス星団はときどき月に隠されます。

21日 春分の日

太陽が真東から昇り真西に沈みます。昼と夜の時間が
ほぼ等しくなり、今後は昼の時間が夜より長くなります。

スペースパーク イベントレポート



平成30年9月17日(月)

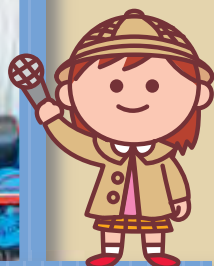
スターレクチャー「『はやぶさ2』探査最前線 ～見えてきたリュウグウの姿～」

会津大学准教授の寺蘭 淳也先生をお招きし、講演いただきました。寺蘭先生は、先代の「はやぶさ」の時に宇宙航空研究開発機構（JAXA）の広報部でお仕事をなさっていたそうです。その経験から「はやぶさ」との違いや小惑星「イトカワ」を初めて見たときの様子などを交えながら、説明をしていただきました。「リュウグウ」の姿については、現在明らかになっている情報をもとにした考察を提示されました。この仮説が本当かどうかは、今後の「はやぶさ2」の成果にかかっているようで、これからの活躍に期待が高まりそうです。今回の講演会は、参加された方の関心が非常に高く、質疑応答では活発に意見が交わされ、寺蘭先生のテンポよくわかりやすい説明に、みなさんは熱心に耳を傾けていました。

今後の「はやぶさ2」の活躍に期待が高まります



きかんしゃトーマスと
なかまたちコーナー



平成30年10月6日(土)～8日(月)

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

鉄道が新橋から横浜に開通した10月14日の「鉄道の日」を記念し、今年も、東日本旅客鉄道株式会社郡山駅の後援で鉄道フェスティバルを開催しました。開催期間中は、たくさんのお客様に楽しんでいただきました。

走らせたい車両を選び、コントローラーで操縦するNゲージ鉄道模型操作体験コーナー、スペースパークボランティアの会の協力による工作コーナー、磁力で浮上し、高速で走行するミニチュアリニアモーターカーコーナーなどがありました。プラレールコーナーは、足の踏み場にも困る状況で、お子様が楽しそうにレールを組んで遊んでいました。

ほかに、JR東日本の歴史について紹介した写真や電車に関する部品や切符などを展示した鉄道関連資料展示コーナーがあり、お客様は「懐かしいね」、「そうそう、これ覚えてるよ…」と足をとめてご覧になっていました。また、木製レールのジオラマにある車両を手で動かしながら遊べる「きかんしゃトーマスとなかまたちコーナー」は、小さなお子様に非常に好評で、いつまでもお気に入りのキャラクターを握って夢中で走らせていました。たくさんのご来場ありがとうございました。

操作体験
コーナー



鉄道関連資料
展示コーナー



コース1 水素、半端ないって



コース3 手作り！キラキラ・スーパースターボール



宇宙ってどんなところ？



最近の天文学の話とは…



蓄光ビーズの星を並べてみると…



松本零士名誉館長とラッピングカー



平成30年10月27日(土)・28日(日)

小中学生・高校生のための科学技術へのいざない

新潟大学工学部とともに、大学が研究している工学の世界や科学の楽しさを紹介する「小中学生・高校生のための科学技術へのいざない」を開催しました。当日は、大学の先生や学生が、全部で7つのコースを設定してたくさんのお客様に楽しんでいただきました。地震の際なぜ、液状化現象が起きるのかについて、モデル実験を通して解説するコーナー、厚紙イヤホンを作って骨で音を聞いてみるコーナーなどがありました。「大学生のお兄さんがわかりやすく説明してくれたので勉強になった」、「工作をして楽しかった」という声をいただくことができました。

平成30年11月4日(日)

コズミックカレッジキッズコース

小学1年生から4年生の児童と保護者を対象に、コズミックカレッジキッズコースを開催しました。今回は、無事に小惑星「リュウグウ」に到着した小惑星探査機「はやぶさ2」にちなんで「宇宙たんさ」をテーマとし、探査機を打ち上げるためのロケットや、探査機が旅する宇宙環境、そして小惑星探査機「はやぶさ2」と小惑星「リュウグウ」について、実験や工作、クイズなどを行いながら学びました。

3D天文シミュレーションシステム「Mitaka3D」イベント開催！！

オープニング公開：9月9日(日)

地球から宇宙の果てまでの旅とともに、最新の天文学でわかってきている宇宙の姿を紹介

ワークショップ

「宇宙の旅と立体星図作り」：10月14日(日)

星の距離をクイズ形式にして学んだほか、蓄光ビーズの星を並べて北斗七星の星図を作成

スペースパークのラッピングカーが完成！

郡山市ふれあい科学館の活動で使用する車が、10月から松本零士名誉館長の「銀河鉄道999」オリジナルラッピングのデザインとなりました。宇宙への夢や憧れの想いを込めたデザインです。みなさんも見かけたら、手を振ってくださいね！

松本零士名誉館長から、ラッピングカー完成に寄せてのメッセージ

今回、郡山市ふれあい科学館の素晴らしいラッピングカーができて、非常に嬉しいです。自分の絵が、この車とともに動き走っていくというのは、本当にじんときて、しびれてしまいました。みなさんも、この車をぜひ楽しんでご覧ください。私の少年の日からの夢はまだ続いています。火星に行くという夢はまだ持っていますし、いずれ、こういう車が宇宙までも走っていくような時代も来ると思います。ふれあい科学館は、未来というものを創りあげていく場所です。人の豊かさを伸ばし、地球の自然環境を守るために、このラッピングカーといっしょに、元気に走り続けていきたいと思います。みなさん、若いみなさんは特に、夢をかけて頑張ってください。

スペースパークインフォメーション案内&募集

特別行事のご案内

第35回星の講演会 スーパーコンピュータで探る惑星の秘密

スーパーコンピュータを用いて宇宙のなぞを解き明かす「シミュレーション天文学」でわかってきた研究成果を、ドームスクリーンに広がる映像を交えてご紹介していただきます。

日時／平成31年3月2日(土) 16:00～17:30

場所／23階宇宙劇場

講師／小久保英一郎さん(国立天文台)

定員／220名(先着順・参加無料)

申込／平成31年1月26日(土)10時より電話または22階インフォメーション



プラネタリウムイブニングアワー 大探訪!4次元デジタル宇宙ーコンピュータが解き明かした最新宇宙像ー

宇宙のなぞを解き明かす方法の一つとして、コンピュータによる計算を駆使した「シミュレーション天文学」があります。国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクトによる映像で、宇宙の姿に迫ります。

日時／平成31年2月～3月の

毎週土曜 18:30～19:30

場所／23階宇宙劇場

定員／220名(当日券売機で観覧券をお求めください)



科学ゼミナール(曾田香料株式会社・郡山市ふれあい科学館連携事業) 香りの魅力ーオリジナル香水を作ってみようー

化粧品や食材等の香料の研究・製造・販売を行っている曾田香料株式会社の郡山工場の協力を得て講座を開催します。「香り」に関するお話を聞いたり、オリジナル香水作りを体験できます。

日時／平成31年2月23日(土) 13:30～16:30

場所／20階多目的研修室

講師／宇田川 亜希さん(曾田香料株式会社)

定員／30名(先着順・参加無料)

申込／平成31年1月26日(土)10時より電話または22階インフォメーション



福島大学・郡山市ふれあい科学館連携事業 おもしろ科学びっくり箱

第3回「どうしてわかるの?心理テストのひみつ」

テレビや雑誌などで大人気の心理テスト。いろいろなタイプの心理テストがありますが、本当に人の性格やところが、たちどころにわかってしまうのでしょうか?実際にいくつかの心理検査を行い、そのひみつにせまります。

日時／平成31年2月2日(土) 14:00～16:00

場所／多目的研修室(20階) 講師／高原 円さん(福島大学共生システム理工学類)

対象／小学4年生～中学3年生 定員／30名(先着順・参加無料)

申込／平成31年1月5日(土)より電話または22階インフォメーション

●ご利用案内

宇宙劇場番組開始時刻

	平日	土・日・祝日
第1回目	10:15	11:00
第2回目	11:30	12:30
第3回目	14:00	14:00
第4回目	15:30	15:30
第5回目	19:00 ※金曜日のみ	17:00

※冬休み期間等や催しがある時はスケジュールが変更となります。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

利用料金

	宇宙劇場	展示ゾーン	ワンヤールバスポート
一般	400円	400円	4,000円
高校生・大学生等	300円	300円	3,000円
小中学生	200円	200円	2,000円
65歳以上	100円	無料	4,000円
幼児	100円※	無料	—

※幼児が席を使用しない場合は無料となります。

お申込み日から一年間有効

有料入館者
20名様以上
20%OFF

開館時間

宇宙劇場

平日／10:00～16:15 (入館は15:30まで)
金曜日／10:00～19:45 (入館は19:00まで)
土・日・祝日／10:00～17:45 (入館は17:00まで)

展示ゾーン

10:00～17:45 (入館は17:00まで)

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日) ※12/25(木)・1/7(月)は特別開館
12/31(月)・1/1(火) ※1/1は展望ロビーも休館します
1/21(月)～25(金) ※保守点検のため、展望ロビーを含めた全館を休館します。

展望ロビー

10:00～20:00(無料、入館は19:30まで)

郡山市の位置



交通機関



ACCESS MAP



スペースパーク | 検索
ウェブサイト検索もカンタン!



紙ヘリサイクル可
この印刷物は、環境にやさしい
FSC® 認証紙と植物油インキ
を使用しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022987

郡山市ふれあい科学館
(公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社)

スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11-1 ビッグアイ20～24F

TEL.024-936-0201 FAX.024-936-0089

メールアドレス info@space-park.jp ウェブサイト http://www.space-park.jp

フェイスブック ウェブサイトトップページよりリンク有り

